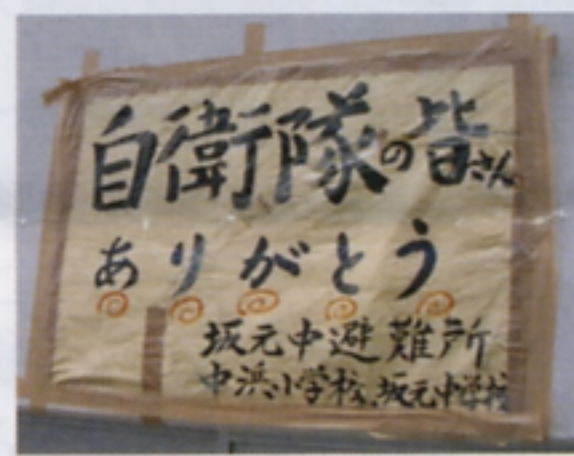


【質問】 松浦芳子

★杉並区における自衛隊へのかかわり方

今回の震災での自衛隊の方々の働きは素晴らしいものでした。自衛隊員の姿を見て被災された方々は、どれほど勇気づけられたことでしょう。常日頃の自衛隊とのかかわり方はとても重要だと思われませんが、杉並区では、これまで自衛隊とどのようなにかかわってきたのか、現状と今後どのようなつながりを持つていくのか区長にお伺い致します。



【答弁】 区長

自衛隊法9条に基づいて自衛官募集、広報等を行なっている。危機管理の面では、総合震災訓練も参加。被災地での遺体捜索や瓦礫の撤去等、報道で見ると感謝するところにも頭が下がる思いです。危機管理の上できわめて重要な役割を担っていただくことになるわけですから、連携がはかれるように、引き続き有効な関係をとっていきます。

【質問】 松浦芳子

★新教育基本法と教科書採択について

●成長期の重要な時期である中学生が、歴史を学ぶことによって、先人たちの感動の物語を感じ、日本を担う国民としての生きる希望と勇気がわいてくるような歴史教育をして頂きたいものですが、

中学生における歴史教育・公民教育はどうあるべきか、まずお聞き致します。

●学習指導要領の解説書では、「神話・伝承などの学習を通して、当時の人々の信仰やものの



見方などに気付かせる」とありますが、神話を取り上げる意義についてお伺い致します。

●学習指導要領では、「日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に關する行為について理解させる」とあり、小学校学習指導要領でも「天皇について理解と敬愛の念を深めるようにすること」とあります。

天皇の行う国事行為の意義を生徒に教える必要性についてのお考えをお伺い致します。

●学習指導要領では、「国旗及び国歌の意義並びにそれらを相互に尊重することが国際的な儀礼であることを理解させ、それらを尊重する態度を育てるよう」に求めています。国家間における国旗国歌の尊重の記述はあっても、日本の国旗国歌には触れない公民教科書もあります。

国旗国歌の意義を正しく教える必要性についての考えをお伺い致します。

●解説書でも、北方領土や竹島が「不法に占拠」されていることを理解させる。とあります。日本の領土問題を正しく学ぶ必要があると考えますが、いかがでしょうか。

●拉致問題は、人権侵害・主権侵害の国家犯罪です。『日本との関係では拉致問題が残る、北朝鮮との関係は好転していません』（東京書籍）と、北朝鮮による拉致問題が、北朝鮮との関係好転を阻害しているかのような記述をしている教科書があります。

拉致問題に関する記述が教科書により大きく異なることについての見解と、主権を侵害することについての考えをお聞かせ下さい。

●日本は、第一次世界大戦後のパリ講和会議

において、人種差別撤廃を提案したことがありました。大多数の賛成を得ながら残念ながらアメリカやイギリスなどの反対で否決され、実現はしませんでした。世界中が欧米の植民地であった時代に毅然とこの提案をした先人達がいことは、日本人として誇れることです。

日本人の誇りとなるパリ講和条約における人種差別撤廃提案などの歴史的事象や歴史上の人物を正しく教えることは、子供たちが先人を尊敬し、生きる希望や勇気をもつことにつながると考えますが、いかがでしょうか。

●敗戦後7年間の占領時代に、GHQの占領政策によって行われた戦争への罪悪感を日本人の心に植えつけるための宣伝計画である「ウォー・ギルト・インフォメーション・プログラム」が巧妙になされたため、戦後生まれの私たちは、日本が悪いとの贖罪意識を持つ者が多くなっています。しかし、事実をきちんと検証すれば、いつの時代も懸命に生きていた日本人がいたことに気がきます。この事を、子供たちに教えて欲しいものです。

●教育基本法や学習指導要領に則った教科書を採択する必要性について、教育長の見解をお伺いします。

【答弁】

済美教育センター所長 学習指導要領の定めに従って適切に進めていくものと考えています。すべて検定を通ったものである。

